

きたまえぶね

北前船「みちのく丸」

が境港にやってくる。

かつて文化交流と物流のメインストリートだった日本海。江戸から明治時代、海上交易の主役だった北前船が、完全復元され、当時の寄港地であった境港へやってきます。全長32.0m、帆柱の高さ28mの北前船の中でも最大級の千石船をこの機会に是非、ご覧ください。

☆北前船とは・・・

江戸時代から明治時代にかけて、東北・北海道地方から大坂までの間を日本海側の港伝いに往復した船のことです。境港では、弓ヶ浜半島の綿（伯州綿）、日野郡で作られた鉄などを北前船で出荷し、まちの発展に大きく貢献しました。また、郷土の民謡「境さんこ節」も、北前船によってもたらされた全国各地の民謡の影響を受けたと伝えられています。



北前船(模型)

☆境港市制施行55周年記念事業

特別展示「北前船と境港～船が運んだもの～」

北前船の寄港を記念し、北前船や当時の境港にまつわる資料を展示します。当時、綿取引などで活躍した廻船問屋・武良惣平氏（水木しげる先生の曾祖父）ゆかりの品もあります。

また、かつて伯州綿栽培が盛んだったころの様子を記録した写真や伯州綿を地域の伝統的資源として光を当てていこうとする現在の取り組みを写真で紹介します。あわせて、弓ヶ浜半島の伝統的工芸品・弓浜緋の作品も展示します。

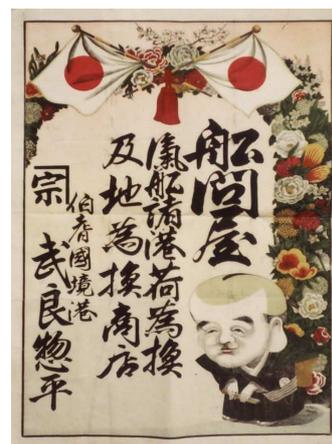
日 時：7月13日(水)～8月17日(水)

会 場：海とくらしの史料館企画展示室

主 催：境港市・(財)境港市文化福祉財団

北前船寄港事業実行委員会

入場料：海とくらしの史料館の入館料が必要です。



武良家の引札(宣伝チラシ)

☆寄港イベント(7月30日(土)～8月1日(月)までの3日間)

○歓迎セレモニー

境港に入港する「北前船」をお迎えします。

と き：7月31日(日) 17:00～

ところ：みなとさかい交流館北側岸壁



伯州綿

○一般公開

係留した北前船に体験乗船し、古来の和船の建造技術で復元された美しい北前船の船内や姿をご見学ください。

と き：8月1日(月) 8:30～11:30

ところ：みなとさかい交流館北側岸壁

※事前申込が必要です。

※申込については、山陰中央新報社 (Tel : 0852-32-3368) へお問合せください。

◆一般公開は、以下のとおり松江市美保関港でも開催します。

7月30日(土)

8月1日(月) 午後～

中海市長会プレゼンツ

○中海帆走航海

北前船がNPO法人美保湾ヨットクラブの協力を得て、米子水鳥公園沖～安来港沖～大根島一帯を展帆帆走します。岸から帆走する北前船を是非、ご覧ください。

と き：7月31日(日) 11:00～16:00 (1回約1時間 4回程度予定)

※9:30から安来港にて歓迎式典を行います。

《一般クルーを募集します》

北前船に乗って操船の体験をしてみませんか。

対 象：18歳以上（事前に、公共マリーナにて説明会とヨットでの操船練習に参加できる方）

人 数：10名程度

連絡先：NPO法人美保湾ヨットクラブ 寺沢さん(090-8609-1209)

※詳しくは、お問合せください。

※当日の天候により、予定が変更する場合があります。